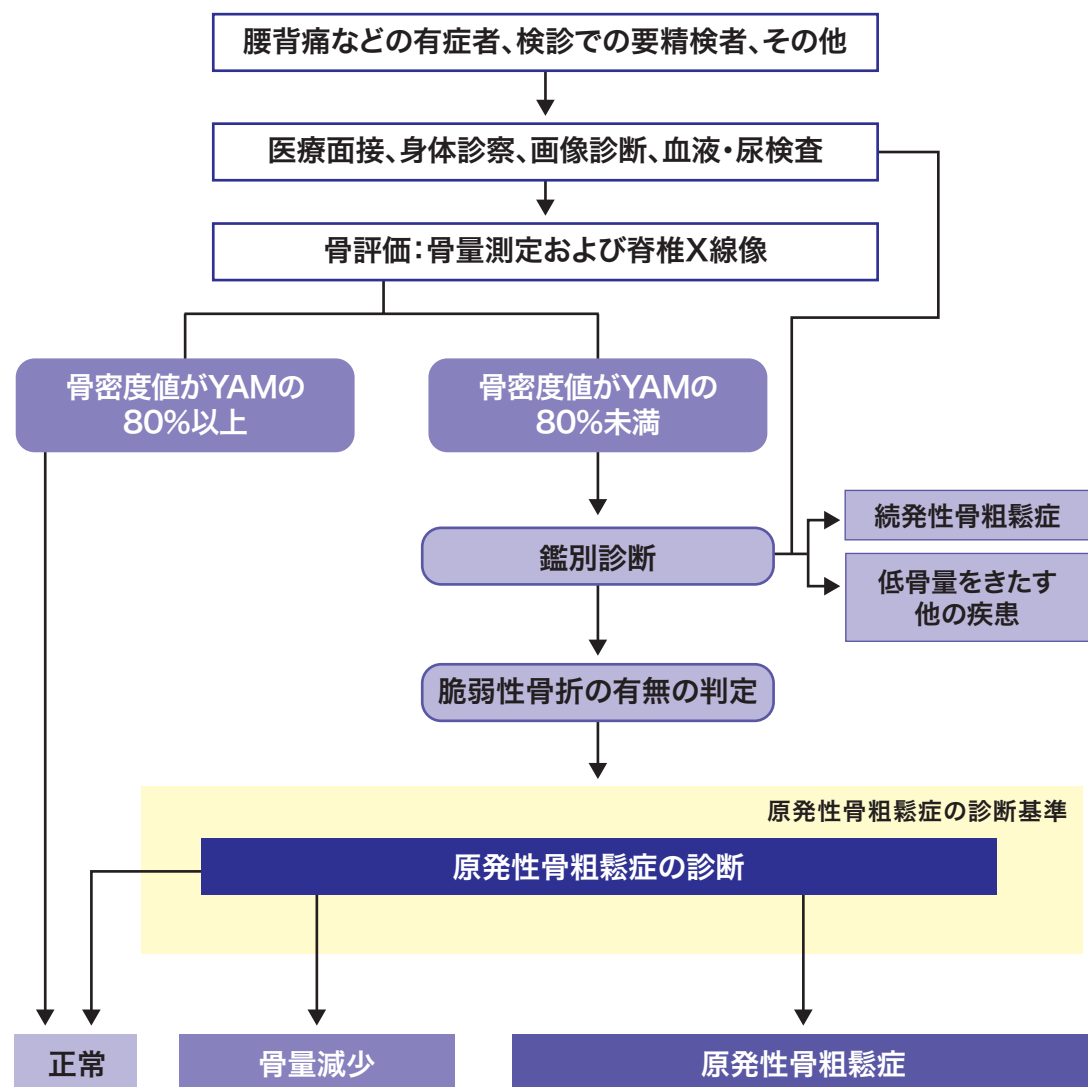


# 原発性骨粗鬆症の診断手順



日本骨代謝学会雑誌 18 (3) : 78, 2001 引用改変  
 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2011年版 引用改変

## ● 原発性骨粗鬆症の診断手順

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2011年版」より

原発性骨粗鬆症と診断するには、まず医療面接、身体診察、画像診断、そして骨代謝マーカーの測定を含む血液・尿検査を行い、その後、骨量測定および脊椎エックス線撮影による骨評価を行う。これらの検査から得られた情報をもとに続発性骨粗鬆症および低骨量をきたす他の疾患との鑑別診断を行い、原発性骨粗鬆症の診断基準を適用して確定する。診断基準については6ページ「原発性骨粗鬆症の診断基準」、鑑別すべき疾患については8ページ「鑑別診断」を参照。

なお、鑑別診断は医療面接の段階でもスクリーニングが可能な場合がある。特に経口ステロイド薬を服用している場合は18ページの「ステロイド性骨粗鬆症の管理と治療」を参照のこと。